



京都地区モビリティサポートモデル事業

ベビーカーを利用した赤ちゃん連れなどの移動制約者に対する歩行者移動支援サービス

京都子連れ観光推進協議会

1. 事業概要

京都は、年間約 5000 万人の人が訪れております。中でも嵐山地区は清水寺に次ぐ第 2 の観光スポットとして有名で、修学旅行の学生や一般の観光客の他、赤ちゃん連れ家族や高齢者、外国人と言った移動制約者の観光客も多くが訪れております。

一方で、嵐山地区の観光地周辺では、道幅の狭い通路等のバリアが多く存在しており、これらは移動制約者にとって障害となっている。また、特に赤ちゃん連れの家族にとっては、赤ちゃん連れでも使えるトイレの有無や、急病時にどこに病院があるかなど、不慣れな場所を訪れることに対して大きな不安を感じており、それらが精神的なバリアとなっております。

このような課題を解決するために、国土交通省の平成22年度モビリティサポートモデル事業により、京都嵐山を訪れるベビーカーを利用した赤ちゃん連れの家族や外国人などの移動制約者に対して、ICT(Information and Communication Technology 情報通信技術)を活用し、移動する上で障害となる段差や道幅の狭い道路の位置などのバリア情報や、赤ちゃん連れ用施設情報を提供し、安全で快適に移動するための情報を分かり易く提供するための実証実験を行っています。

実証実験では、実験エリア内において、スロープ、段差、幅員、多機能トイレの位置などの情報を格納した歩行空間ネットワークデータを整備し、それらを国土地理院が発行する場所情報コード(u-code)と関連づけて登録しています。

実験参加者は、iPhone や iPad を利用し、GPS や WiFi といった位置特定インフラから得られる位置情報から場所情報コードを通じて、経路案内や経路上のバリア(段差、スロープ等)の有無、バリアフリートイレの位置などを把握できます。

2. 提供サービスとシステム概要

(1) システムの概要

本事業で利用するシステムでは、iPhone や iPad を利用し、GPS や嵐山地区に設置されている Wi-Fi といった位置特定技術により位置情報を取得し、場所情報コードを通じてバリア情報(段差、幅員、スロープの有無、多機能トイレの位置等)を格納した歩行空間ネットワークデータからその場所に関する情報を取得し、バリア情報提供や経路案内などのサービスを提供します。

(2) システムの特徴

- ①情報提供する携帯端末に、広く一般に普及している iPhone や iPad を用いることで、サービス提供用ソフトをダウンロードするだけで、利用者が使い慣れた端末を用いて情報サービスを利用することができます。
- ②画面での情報提供は、多言語（日本語、英語）に対応していますので、外国人の移動支援にも役立ちます。

（3）情報提供対象者

- ①ベビーカーを利用する赤ちゃん連れ家族
- ②外国人
- ③その他（初めて訪れる場合）

（4）サービスの概要

①音声による歩行者へのバリアフリーガイド

ベビーカーでもハンズフリーで安心して移動できるように、歩行中、該当箇所で音声によりバリア情報を提供します。

（提供例）

- ・ここからスロープがきつくなります。
- ・段差があります。ご注意ください。
- ・この近くに多機能トイレがあります。
- ・この近くにバス亭があります。 等



図 音声によるバリアフリーガイド例

②赤ちゃん連れ用の施設情報提供

授乳施設、ベビーチェア設置トイレ、緊急医療機関、地下鉄駅へのエレベータ位置等の施設情報を提供。

③目的地までの経路案内

現在地や指定した場所から目的地までの経路案内情報を提供。



図 施設情報提供及び目的地までの経路案内例

④離れた家族の位置情報提供

GPS や Wi-Fi からの位置情報により、別行動をとった家族の位置をリアルタイムで取得し、地図上に表示する。また、あらかじめ設定したエリアに家族が出入りしたときに、音声とメールで通知します。

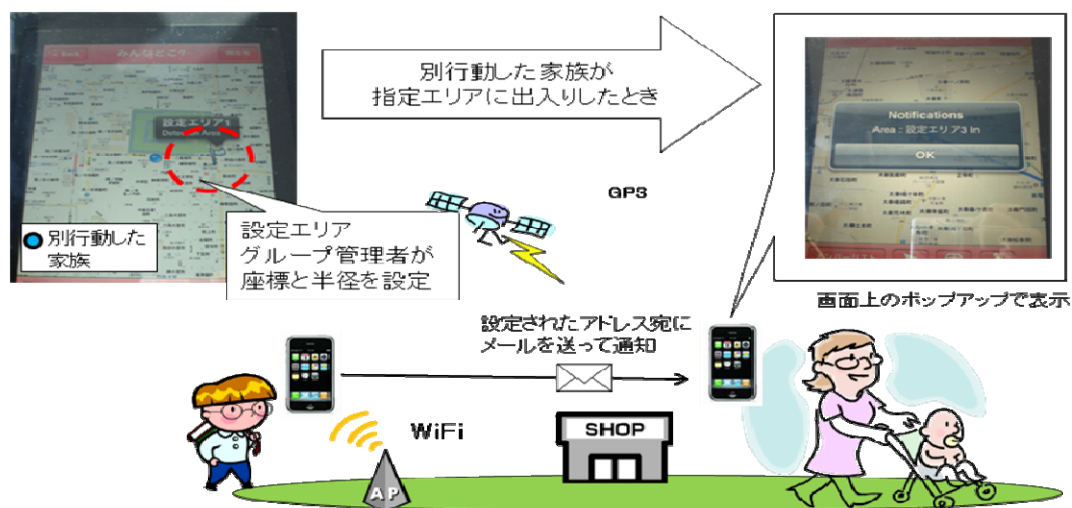


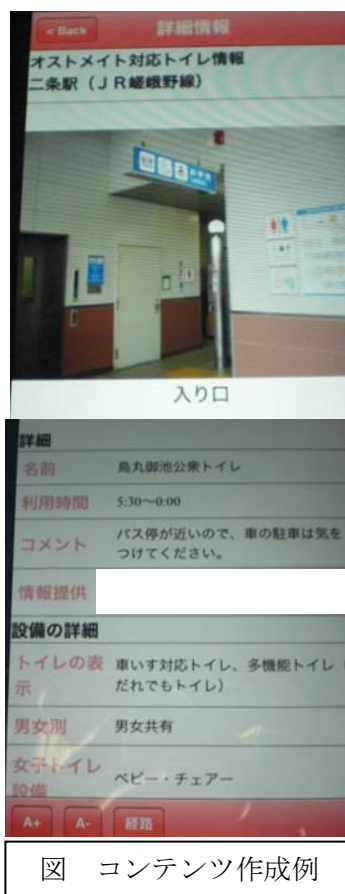
図 離れた家族の位置情報提供例

(5) 地域の人を巻き込んでコンテンツ(赤ちゃん連れ用のバリアフリー情報)を作成

本事業の実施にあたっては、持続的なコンテンツ発信・修正を可能とするため、地域の人を巻き込んでコンテンツを作成してもらう仕組みを構築しました。

具体的には、バリアフリー情報や施設情報などのコンテンツを簡単に作成できるコンテンツ作成用 WEB システム作成し、協議会の HP を通じて提供する。コンテンツ作成者はこのシステムを利用して施設情報などのコンテンツを作成し、それらのコンテンツを集約して配信しています。

なお、配信するコンテンツには、その作成者名を掲載することで、作成したコンテンツの品質に責任を持ってもらうと共に、コンテンツ作成者の広報・宣伝にも寄与しています。



3. 実証実験の概要

【実施期間】 2011 年 1 月 29 日～2 月 16 日

【実験エリア】 京都市嵐山エリア

【使用端末】 iPhone、iPad3G(「ファミなび」アプリをダウンロードが必要となります。)



4. 今後の展望

実証実験は、2 月 16 日までとの実施予定となっていますが、京都子連れ観光推進協議会では、実証実験終了後も引き続きサービス提供を行います。皆様も是非、京都嵐山地区においでになり、本サービスを利用して安全で快適な街歩きを楽しんで下さい。

なお、本サービスは、クラウドシステムになっており、他地域への展開が容易にできます。今後は、他地域への展開もすすめていく予定です。

<問い合わせ先>

●京都子連れ観光推進協議会事務局

京都フラワーツーリズム合同会社内

Tel: 075-634-3347 090-1133-1358

<http://faminavi.org/>